

2025 くすのき
VOL.36

樟 樹

樟樹会 新居浜西高等学校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存知ですか？

● 第20回 ●

・全国大会優勝記念プレート

令和6年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技に出場した秦萌々菜さん(令和7年3月卒)は、スナッチで74kgを挙げ、優勝しました。また、クリーン&ジャークは3位、総合成績では2位と好成績を収めました。その栄誉をたたえ、本館東側壁面に記念プレート(90cm×60cm)を掲げています。ご来校の際には是非ご覧ください。



・今どきのクラスマッチ "モルック"

皆さんは、モルックというスポーツをご存じでしょうか。フィンランドのカレリア地方の伝統的なkyykkä(キイッカ)というゲームを元に、1996年に開発された比較的新しいスポーツです。モルックという棒を下から投げ、スキttlという数字が書かれた木製のピンを倒していきます。モルックを投げて倒れたスキttlの内容(1本だけ倒れるとそのスキttlに書かれた数字が得点となり、2本以上倒れると倒した本数が得点となります)によって得点を加算していき、先に50点ピッタリになれば勝ちとなります(50点を越えた場合は25点に減点され競技が続けられます)。本校では、令和5年度の3学期クラスマッチから競技として採用されています。老若男女を問わず気軽に参加できるのも魅力です。皆さんも折りあらば、挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。



50年目の卒業式

瀬浪 悦子 (昭和50年卒)

午前10時、吹奏楽部と合唱部、音楽選択コースの1年生による生演奏の「威風堂々」が流れる中、卒業生たちが引き締まった面持ちで入場し、厳かに卒業式が始まりました。卒業証書授与に続き各賞の授与、校長先生の祝辞、送辞と進むにつれ、はるか年の離れた後輩たちが、いかに素晴らしく充実した高校生活を送ってきたかが伝わり、改めて西高の素晴らしさを感じました。

村上貴洋くんの答辞では、コロナ禍の中、マスクで素顔の見えないクラスメートと共に入学し、黙食で会話ができない高校生活のスタートだったけれども、様々な行事を通して繋がりを深めてきた様子、ご家族を始め、回りの人たちに対する感謝の言葉が語られ、式後、出席した同期生41名はみな一様に感動したと話していました。

改めまして、「ご招待ありがとうございます。ありがとうございました。そして卒業生のみなさま、おめでとうございます。」

その後の同期会では「おとなの文化祭」として趣味の作品などの展示を行い、2次会では投票で選曲した70年代ポップスをみんなで歌い、旧交を温める一方、在校時は話したことなかった人との新たな出会いもあり、同期会とは「出会い直しの場」であることを実感しました。同期のみなさま、また元気で再会いたしましょう。



会長挨拶



樟樹会会長
せのお じろう
妹尾 次郎
昭和55年卒

同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

令和7年は、昨年とは違い穏やかな幕開けとなりました。4月には、大阪・関西万博がスタートし、国内のみならず世界各地より多くの観光客が押し寄せ、賑わいを創出しているようですが、その経済効果が日本各地へ広まることを期待しております。5月21日には、新居浜から3台の太鼓台が派遣され、見事な寄せ太鼓を披露し、新居浜と太鼓祭りを大いにPRすることができました。

さて、今年も2月28日に同窓会入会式が行われ、新たに280名（全日制269名、定時制11名）の卒業生が加わりました。また、3月1日の卒業式では、同窓会賞を3名（全日制2名・定時制1名）に授与いたしました。そして、昨年再開致しました「50年目の卒業式」へは、昭和50年卒の先輩方をお招きしました。ご参加いただきまし

た皆様ありがとうございます。来年は、昭和51年卒の皆様にご案内させて頂く予定ですので、何卒、よろしくお願い致します。

同窓会本部では、昨年8月に総会・懇親会を盛大に開催致しました。ご案内が遅れたこともあり、例年に比べ参加者が若干少なかったように思えましたが、先輩・後輩・先生方と楽しく、懐かしい時間を過ごすことが出来ました。（今年は、8月2日に開催予定です。）

各支部におきましては、6月1日に東日本樟樹会の第17回総会が盛大に開催されました。また、近畿くすのき会は、11月8日に第29回総会を開催される予定と聞いております。ご都合のつく方は、是非ともご参加いただき旧交を温めて頂きたいと思っております。

結びに、同窓生の皆様方のご健勝とご多幸を、そして母校の更なる発展を心よりご祈念申し上げます。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。



校長挨拶



校 長
ひの ゆうこ
日野 右子
昭和59年卒

樟樹会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から母校新居浜西高等学校に対して、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私も西高で勤務する最後の年となりましたので、悔いの残らぬよう一日一日を大切に、母校のため、生徒たちのために力を尽くしてまいりたいと思っております。

昨年度は新教育課程の生徒が大学を受験する最初の年となり、新科目への対応も含めて一層熱心な進路指導が行われた結果、国公立大学現役合格者157名、うち難関10大学と医学部医学科で21名と、前年度に続く優れた成果を上げることができました。特に、東京大学1名（現役では12年ぶり）、京都大学3名、東京科学（旧東京医科歯科）大学医学科1名など、トップレベルの生徒の頑張りが目立ちました。また、特別活動においても、全日制・定時制ともに数多くの生徒が全国大会に出場するなど活躍し、運動会や二日間開催とした西高祭などの校内行事も西高らしい盛り上がりを見せてくれました。文武両道を実現する生徒たちのおかげで充実した

教育活動が行えていることを大変ありがたく思います。

さて、今年度は全日制に251名の新入生を迎えて3学年で754名、定時制には11名の新入生を迎えて4学年43名となり、全校生徒797名でスタートしています。全日制では、初の特色入試には148名という非常に多くの志願者があつたものの、一般入試では受検控えの傾向が見られ、3年連続して定員割れとなりました。県立学校の統合や再編により、近隣でも新校や新学科・コースが次々と誕生する中で、本校が地域の期待に応え、必要とされる学校で在り続けるために、魅力ある学校づくりに二層力を入れる所存です。

新たな取組としては、オンラインによる総合型学習支援サービスを導入し、到達度の測定やその結果に基づく課題の配信など、家庭学習の個別最適化を進めております。また、昨年度本格的にスタートした探究活動におきましても、生徒たちは自ら選り、設定した課題の研究に意欲的に取り組んでおります。この活動が生徒たちの社会への関心と進路意識を高め、実践力や行動力を養い、未来を拓く真の力を育成するものとなることを願っております。

既にご案内のとおり、引き続き本校ではこの探究活動を支えてくださる同窓生の方を募集しておりますので、ご登録いただけたら幸いです。今後とも後輩たちへのさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生

にわたり活躍されている
するコーナーです

介

Profile

昭和47年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科卒業
昭和53年 神戸大学医学部医学科卒業
愛媛大学医学部眼科学教室入局
昭和55年 十全総合病院眼科勤務
昭和61年 西之端眼科院長



そのベ み き
園延 美記

アニバーサリー

故郷の新居浜に戻って眼科クリニックを開業してから早いもので38年。もうすぐ40周年を迎えます。この40年間の医学の進歩は目を見張るものがありますが、私が一番衝撃を受けた医療機器はOCT（光干渉断層計）でした。OCT検査とは、近赤外光を利用して患者さん自身に負担無く、眼底の断面図をミクロンレベルで撮影できる非常に画期的な検査で、緑内障や糖尿病網膜症、黄斑変性などの様々な目の疾患の、早期発見や精密な検査が可能となりました。因みに、緑内障は中途失明原因の1位、糖尿病網膜症が3位、黄斑変性が4位と我々の目の健康に大きな影響を持つ疾患ばかりです。

このようなOCTの様々な機能の中でも、特に私が注目しているのが緑内障の早期発見です。緑内障とは、何らかの原因で視神経が障害され視野（見える範囲）が狭くなる病気で、眼圧の上昇がその病因の一つと言われています。治療せずに放っておくと失明につながることもある病気です。緑内障は皆さんが想像されているより非常に多く、40歳以上の日本人の20人に1人、70歳では10人に1人とされていますが、なんと9割の方が気づいていないと考えられています。緑内障は、初期には自覚症状がほとんどありません。この時役立つのがOCT検査で、視野がまだ欠けていない極早期の緑内障（前視野緑内障）も見つけることができるようになりました。緑内障で失われてしまった視野は、現在の医学では回復できません。でも逆に言えば、自覚症状のないうちに発見し、そこで治療によ

り、進行を抑えれば日常生活に不自由を感じることなく生活できるのです。OCTを当院に導入して10年以上経ちますが、私は未だに時々「君はほんとに賢いなあ」と呟っています。

ここまで40周年を前にして、最近の眼科診療のエポックメイキングな出来事についてお話しさせて頂きました。アニバーサリーといえば、ちっちゃなクリニックのたった40年の当院と並べては恐れ多いのですが、三越が創業350周年を迎えました。創業は1673（延宝元年。第4代将軍徳川家綱の時代です。因みに5代将軍徳川綱吉の「生類憐みの令」は1685年でした。特別な1年を記念する数々のモノやコトの中に文春文庫「時ひらく」があります。本の装丁をご覧になって「あれ？三越だ！と思うれた方はいらっしゃいませんか？「時ひらく」は、創業350年の「老舗百貨店・三越」を舞台にした短編小説集。三越の包装紙をモチーフにした美しい1冊になりました。戦後間もない1950年、世の中を少しでも明るくできることを目指し国際的な画家、猪熊弦一郎氏に、包装紙デザインを依頼しました。当時、百貨店の包装紙といえば印刷も地味なものでハトロン紙が主流だったそうです。猪熊氏は千葉の犬吠埼を散策中に海岸で荒波に打たれている石を見て、「波にも風にも負けず頑固で強い」と「自然の作る造形の美しさ」をテーマにしようといメージして制作されました。また、印象的な赤の色はこれからの時代は包装紙



も自分（百貨店）をアピールするような強いものでなければならぬという理由から「スキヤパレリ

レッド」を使用したそうです。（初めて聞く色の名前です）そして、出来上がった作品を受け取りにいったのは、当時三越宣伝部の社員だったやなせたかしさん。そう、あのアンパンマンのやなせたかしさんです。さすが三越！ビッグネームがバンバン出て来ます。やなせたかしが「mitsukoshi」のロゴを書き入れて「華ひらく」と名づけられた日本の百貨店初となるオリジナル包装紙が誕生したので。『時ひらく』の執筆陣は、辻村深月・伊坂幸太郎・阿川佐和子・恩田陸・柚木麻子・東野圭吾の6名。包装紙に負けない豪華なメンバーが揃いました。

一つ一つの作品の内容はネタバレになつてしまうのでここでは書かずにおきます。ただ東野作品にはまさかの湯川教授と草薙刑事が登場です。どの作品も、華やかな舞台とは違う知られざる三越の側面や、そこで働く人々、そして訪れる人々の温かい人間ドラマが描かれていて、読後感は爽やかで心温まる作品です。最後に「元祖カリスマ書店員」間室道子さんの書評を一言「本書は日本を代表するこのデパートが昨年創立350周年を迎えたのを機に企画されたもので、名うての作家6人が短編を書き下している。私の考えでは、『うちの県に三越はありません』『一度も行ったことではない』『では無視できない吸引力がこの文庫にはある。』」





そのベ
園部 充

Profile

平成3年 愛媛県立新居浜西高等学校普通科卒業
平成7年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業
朝日放送(現朝日放送テレビ)入社
平成29年 東京支社編成部長
令和元年 スポーツ部長
令和4年 (株)ABCアーク代表取締役社長

野球が繋いでくれた縁

2021年4月から現在、(株)ABCアークという朝日放送テレビの子会社に出向し、代表取締役を務めています。この会社で月刊誌「歴史人」を発行しているのですが、雑誌の発行と共に重要なミッションが「歴史を活かした地域貢献」、各地に眠っている歴史資産を掘り起こし、活性化につなげようというものです。以上が略歴ですが、これから、野球が繋いでくれたいくつかの縁について紹介させて頂きたいと思っています。

1 この原稿の依頼

当時の野球部顧問 村上敏之先生が「歴史人」を読み、そこで私の名前を見つけ、同窓会誌「樟樹」の編集委員に紹介し、編集会議で私が推薦されました。会議出席していた高校の野球部の後輩清水君から連絡を受けた次第です。

2 愛媛とのつながり

系列局の愛媛朝日テレビは現在、甲子園に出場した球児が8名いるそうです。同じ愛媛で球児だったことから、東京支社時代、仕事は当然の事、プライベートでも仲良くして頂いています。同局は高校野球を通じて地域に貢献したいという思いも強く、弊社が行っている地域貢献と通ずることもあり、今でも一緒にプロジェクトを計画している間柄となっています。もしかしたら2025年年末に一つの形になるかもしれません。

3 栗山英樹さんとの縁

今、雑誌業界は非常に厳しく有名な雑誌が次々と休刊となっている状況です。「歴史人」の売り上げを伸ばさなければと奔走している最中、1本の電話がかかってきたのでした。「園部君、今『歴史人』を



やっているんだって？俺も出してよ。歴史をマジで勉強したいから」。その相手が、WBCで優勝した直後の栗山英樹さんだったのです。栗山さんとの縁は2009年、私が「熱闘甲子園」のチーフディレクターをしていた時に、長島三奈さんと共に熱闘甲子園キャスターとして出演して頂き、一緒に取材をしたり番組を作ったりしたことがきっかけでした。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、栗山さんは非常に勉強熱心で、特に歴史に造詣が深く、偉人の生き方や印象に残った言葉を自分のノートに書き留め、日本ハムやWBC日本代表監督を務める糧にされています。読書で知識は得る事ができるが、本物の先生から学びたい、そんな思いで連絡をくれたのでした。「歴史人」は数多くの歴史家や先生とのネットワークを持っており、そんな方々と栗山さんの対談を連載することになりました。上記以外にも、今でも西高野球部の先輩や同期、後輩とも繋がりがありますし、遊んで頂いたり、ミーティングをさせてもらったりする機会もあります。3年間野球部で頑張った事が今になっているんな繋がりを生んでくれたと改めて思う次第です。

の 歩 み

頼もしい仲間たちと

剣道部 主将 いしかわ こうた
石川 煌汰



私たち剣道部は、男子10名女子3名計13名で日々練習に励んでいます。今はたくさんの方が入学してくれていますが、私たちが入学する前は部員が3名と少ない人数で活動をしていました。私は入学する前から剣道部に入学希望でしたが、他の部員のほとんどが悩んでいたりと、他の部活動我希望したりしていました。しかし、前主将の先輩と諦めずに勧誘し、経験者のほとんどが入部しました。今では後輩を含めた仲間たちと、男子はインターハイ出場、女子は四国大会出場を目指しています。

私たちは小学校から剣道を始めて、一緒に稽古をして育ってきました。そのため、全員仲が良く部内の雰囲気はとても良いです。稽古が終わった後は、男女関係なく話し、あつという間に時間が過ぎるということが多々あります。稽古では、技を磨くために先生から教わったことを自分たちで強度を高めて稽古に励み、部員同士でアドバイスや意見交換をしながら一生懸命精進しています。妥協することなく真剣に取り組んでいるため、時には衝突することもあります。この衝突のおかげでより相手のことを深く知ることができます。技術的な悩みや、試合前における不安に対してもお互いに励ましあえる最高のチームに成長しました。私はそんな頼もしい仲間たちのおかげでチームを一つにまとめやすく、自分のことにも集中して取り組めることができます。

そんな稽古の成果もあって、男子は昨年の県新人大会と県選抜大会で3位に入ることができました。初戦から強豪校相手でしたが、誰一人として諦めることなく挑むことができ、とても苦しい戦いでしたが勝つことが



ができました。女子も県大会で個人団体ともにあと一步で四国大会というところまで成長することができました。男子は四国大会出場が決まっから、より実践的なメニューを新しく取り入れ、県大会での反省を自分たちで話し合い、充実した中身の稽古をすることができていました。自信を持って試合場に行きましたが、県大会とは違って周りのレベルは高く会場には緊張感が漂っていました。その空気の中にもみ込まれてしまった私たちは、リーグ戦の2試合目までは自分たちが思ったような試合はできませんでした。私はこのままでは稽古してきたことが試合に出せないままになってしまおうと思い、そこで周りの仲間たちと試合の反省をし、対策を立て、気持ちを入れ直して3試合目に臨みました。そのおかげで、3試合目では自分たちの良さが始め、チームとして納得のいく勝ちを収めることができました。結果とし



ては悔しかったですが、四国大会に出場して、自分たちの成長を感じることができ、これからの課題を知ることができるといい機会になりました。「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という、剣道を通じて心身を鍛え人間性を向上させることを指す言葉があります。私たちはこのように、ただ勝つことを目標にするのではなく礼儀も大切にしていきます。先生への挨拶や、送迎をしてくださる保護者の方々への感謝を忘れず、試合にも礼儀正しく臨んでいます。

私たちは剣道部は、試合で「正々堂々」戦うことが部訓であり、心掛けています。その理由は、勝つても負けても悔いの残らない試合にすること、そして、周りからも応援されるようなチームであることを大切にしているからです。そのために、試合をする相手を心から敬うことを忘れず、礼儀正しく臨むことで、これからの人生においても「正々堂々」と生きたいと思っています。そして、後輩たちに新居浜西高校剣道部のバトンを良い形でつなげるようにしたいです。



部活動

未来へ羽ばたく インターアクト部

インターアクト部 部長 弓山 賀子
ゆみやま かこ



インターアクト部は、奉仕と国際理解を主軸とするロータリークラブにより提唱された、高校生のための社会奉仕クラブだ。新居浜西高校のインターアクト部は昭和41(1966)年に四国で最初に創部された。過去に英語部や社会研究部と合併し、現在は様々なボランティア活動に取り組むボランティア部門、英語でディベートを行うE.S.S.部門、地域の魅力と自治問題の探求に取り組む社会研究部門の3部門で連携しながら幅広い活動を実施している。年に一度、四国のインターアクト部が集い学びを深める年次大会にも参加し、ロータリークラブのご支援のもと、花の種配布活動などのボランティアや、短期海外留学に行く青少年交換プログラムにも携わってきた。

他にも、幼児・児童への読み聞かせボランティア、児童への学習支援活動、西高で学ぶ交換留学生との交流も毎年行っている。前年度、エストニアから来た留学生とは2回交流会を開き、エストニアと日本の文化の違い、学校生活の違いなどの話をした。直接関わることで、本や新聞には載っていないようなリアルな話がたくさん聞け、大変勉強になったと同時に、これこそ本当の国際交流だと感じた。このような素晴らしい経験ができるのも、インターアクト部の強みだと思う。

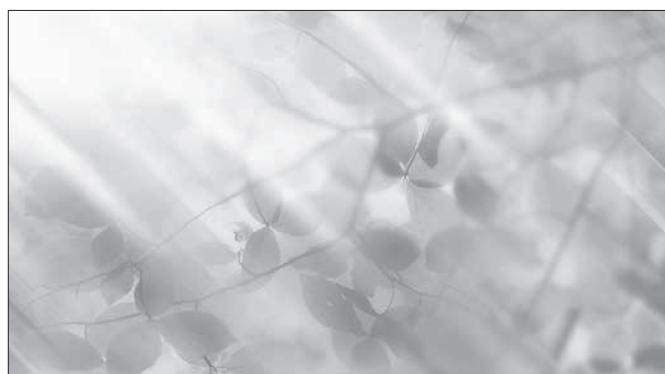
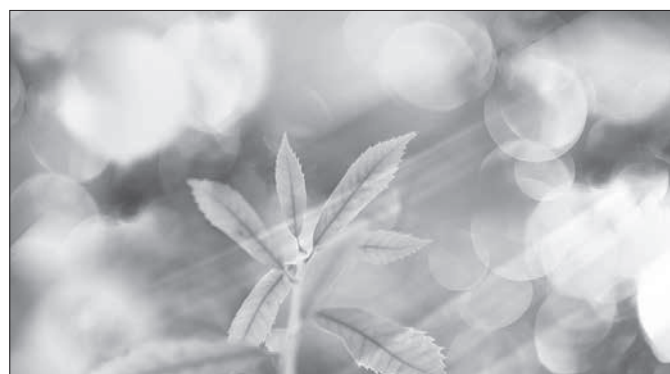
私はE.S.S.部門に所属しており、年に二度行われる英語ディベートコンテストに向けて日々語学力の向上と準備に取り組んでいる。試合で戦うまでには入念な準備が必要で、私たちは大会に向けて半年以上かけて活動を行っている。論題の研究・分析の後、論題に対する個々の意見を深め、そこから英語での立論作りと主張を裏付けるエビデンス集めを手分けして行っている。また、愛媛県内の出場校同士での練習試合もオンラインや対面で行い、練習

後はに参加校や運営・審判の先生方からアドバイスをいただき、それをもとに修正・改善を重ねてより説得力のあるものにしていくことに励んでいる。

1年時
の11月1日、試合当日。私は先輩方、A.L.Tの先生、顧問の先生と共に会場のある大洲へ向かった。車内では、準備してきた資料を最後の最後まで確認した。そして迎えた本番。席に着き周りを見渡すと、目の前にはジャッジの先生方、その周りにはゲームを見に来た他校の多くの生徒……初めての光景に緊張で足が震えた。でも大丈夫。これまで練習試合で何度もやってきたから。いつも通りやれば大丈夫!そう自分に言い聞かせ、心を落ち着かせた。

"Let's start the debate round." 進行の合図で試合が始まった。相手の立論を聞きながら、手元のフロッピーシートに英語でメモを書き込んでいく。耳を研ぎ澄ませる。静かな会場に、対戦相手を読み上げる英語と私たちのペンの音が響く。まず相手の英語を聞き取れないことには、何も始まらない。相手の英語を理解して、そこから自分が何をどのような方向で発言するか考えた。

相手校のアタックが終わわり、次は私の番だ。迫る出番に鼓動が早くなる。何を言おうか。限られた時間の中で用意してきた資料とエビデンスに素早く目を通す。5つのアタックのうち4つはディフェンスが固まった。残り1つ



部活動結果報告

第79回愛媛県高等学校総合体育大会 結果

陸上競技 弓道 インターハイへ

第79回愛媛県高等学校総合体育大会が、5月31日(土)～6月2日(月)まで3日間にわたり開催されました。
本校からは総勢217名の選手が参加し、各会場において熱戦を繰り広げました。主な結果は以下の通り。

【陸上競技】

県総体

男子

200m	横井大輝	3位※四国総体出場
1500m	島田悠史	6位※四国総体出場
3000mSC	島田悠史	4位※四国総体3位 インターハイ出場権
3000mSC	佐久間一樹	11位
5000mW	鎌倉尊	9位
走高跳	矢葺温大	18位
走幅跳	富永爽楽	13位
三段跳	富永爽楽	14位
三段跳	篠原良佑	16位
円盤投	松本響世	15位
ハンマー投	宇根由悟	6位※四国総体出場
八種競技	佐藤流輝	13位
八種競技	稲見有真	14位

女子

3000m	渡邊未菜	9位
100mH	高橋莉愛	2位※四国総体3位 インターハイ出場権
三段跳	石野花歩	9位
砲丸投	越智唯愛	19位
円盤投	藤田和来	17位
ハンマー投	青野美咲	7位
やり投	藤田和来	10位
七種競技	篠崎温菜	12位

【バスケットボール】

男子

1回戦	新居浜西	86－88	東温
-----	------	-------	----

女子

1回戦	新居浜西	30－142	聖カタリナ学園
-----	------	--------	---------

【バレーボール】

男子

1回戦	新居浜西	1－2	松山聖陵
-----	------	-----	------

女子

1回戦	新居浜西	0－2	八幡浜
-----	------	-----	-----

【バドミントン】

男子団体

(森長悠・徳永蒼空・阿部隼也・外山晃太郎・ 國田脩造・杉山一真・日田峻介・宮崎音弥)	第3位 ※四国総体出場
---	-------------

男子シングルス

國田脩造	宮崎音弥	ベスト16
------	------	-------

男子ダブルス

徳永蒼空・杉山一真	國田脩造・宮崎音弥	ベスト16
-----------	-----------	-------

女子団体

(福田莉子・酒井里彩子・大澤友香・佐藤葵・ 大中瑞穂・郭 晶・山田ひなた)	ベスト8
--	------

女子シングルス

福田莉子	酒井里彩子	ベスト16
------	-------	-------

女子ダブルス

福田莉子・酒井里彩子	大澤友香・大中瑞穂	ベスト16
------------	-----------	-------

【卓球】

男子団体

(塩見純太・森田大翔・進藤憧龍・鈴木日陽・
小野陽暉・千葉雄太・安藤佑馬)

1回戦	新居浜西	3－0	宇和島東
2回戦	新居浜西	1－3	伊予農業

男子個人

シングルス	森田大翔	1回戦
ダブルス	横山達也・進藤憧龍	1回戦

女子団体

(國峯美智・福原蓮・近藤美柚・伊東愛未・
古川莉子・横井結衣・田中結子)

1回戦 新居浜西 2－3 松山西

女子個人

シングルス	國峯美智	1回戦
ダブルス	國峯美智・古川莉子	2回戦

【ソフトテニス】

男子団体

(渡邊俊輔・沖廣祐斗・伊藤颯汰・有富幸都・
宮本恵伍・宮崎快・坂本文虎・北條響)

1回戦 新居浜西 0－3 松山西

男子個人

渡邊俊輔・沖廣祐斗	1回戦
-----------	-----

女子団体

(菅汐璃・塩田咲葉奈・谷野宮奈央・小泉 彩羽・一宮雅・土居唯都妃・松崎ゆずき・ 内山真侑)			
1回戦	新居浜西	1－2	川之石

女子個人

塩田咲葉奈・谷野宮奈央	ベスト32
-------------	-------

【テニス】

男子団体

(堀之内悠太・松木佳哉・秋山樹・大岡龍司・山林太一)

1回戦	新居浜西	3－0	八幡浜
2回戦	新居浜西	0－3	松山北

男子個人

ダブルス	堀之内悠太・松木佳哉	1回戦
シングルス	堀之内悠太	1回戦

【ハンドボール】

1回戦	新居浜西	26－13	松山南
準々決勝	新居浜西	24－21	松山工業
準決勝	新居浜西	19－30	今治西
第3代表決定戦			
	新居浜西	26－34	松山東
			ベスト4

【サッカー】

2回戦	新居浜西	0－2	松山工業
-----	------	-----	------

【剣道】

男子団体

1回戦	新居浜西	4－0	松山工業
2回戦	新居浜西	4－1	今治北
準々決勝	新居浜西	0－3	宇和島東
			ベスト8

男子個人

石川煌汰	3回戦	
坂元太詩	2回戦	
青木祐志郎	田中幹大	1回戦

女子団体

1回戦	新居浜西	3－1	吉田
2回戦	新居浜西	0－4	今治精華

【弓道】

女子団体

女子個人 小野夢音 決勝 第1位

※四国総体出場 インターハイ出場権

【創作ダンス】

テーマ「あかがねの零落～かつての栄華 を求めて～」	13位
------------------------------	-----

【体操】

篠原妃陽里	跳馬10位、平行棒9位、平 均台9位、床9位、個人総合9位
	※四国総体出場

【水泳】

400m個人メドレー	白澤航	2位※四国総体出場
200m個人メドレー	白澤航	2位※四国総体出場
200m背泳ぎ	酒井淀	7位※四国総体出場
100m背泳ぎ	酒井淀	4位※四国総体出場

●● 文化部 大会結果 ●●

放送 合唱 全国大会へ

【文芸】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭詩部門
上野莉空 寺田妃利 優秀

【放送】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭放送部門
朗読部門 菊澤昌史 優秀

第49回全国高等学校総合文化祭推薦
稲見玲奈 奨励

ビデオメッセージ部門
「だいだいだいきらい！」 奨励

オーディオメッセージ部門
「舟導唄」 優秀

第49回全国高等学校総合文化祭推薦
第20回愛媛県高等学校放送コンクール新人大会

朗読部門 稲見玲奈 優良
ショートムービー部門

「ラジオネーム：ちーたら」 優良

【自然科学】

えひめサイエンスチャレンジ2024
一般部門出場（物理部）

「ホッチキスの針が紙を貫く圧力の探究」
大西雄稀 伊藤勇磨 富永陸斗

【写真】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭 写真部門
松木飛鳥 奨励

第37回愛媛県高等学校文化連盟写真展
山中涼平 優秀賞

鈴木奏人 西原朔陽 星田光志
平井良汰 加藤和佳奈 奨励賞

下田琴子 審査員特別賞
梶島采奈 三浦蓮 専門部賞

第3回学校制服フォトコンテスト
鈴木奏人 金賞

第13回日韓中高校生フォトコンテスト
西原朔陽 入選

同志社女子大学フォトコンテストSEITO フォトコン2024
越智華音 優秀賞

全国スポーツ写真コンクール2024
鈴木奏人 銀賞

第19回アイデム写真コンテスト「はたらくすがた」
星田光志 佳作

高校生フォトコンテストNCAD 2024
井野桃子 最優秀賞

JAMCA PRIZE 2024 フォトコンテスト
学生部門

鈴木奏人 井野桃子 審査員奨励賞
越智華音 加藤和佳奈 篠原咲音 入選

【合唱】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭合唱部門
優秀賞

ハイスクールクワイア参加
（優秀賞一県代表）

第31回愛媛合唱アンサンブルコンテスト&フェスティバル
混声グループ 金賞

女声グループ 金賞
愛媛県合唱連盟理事長賞

【吹奏楽】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭吹奏楽部門
参加

【美術】
第38回愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門
出品、参加

【書道】
第38回愛媛県高等学校総合文化祭書道部門
森田結愛 奨励賞

第4回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリ
西四国大会 優勝

決勝大会出場
第63回愛媛県学生書道展

片山晶子 特選
三好ひかる 市位朋花 森田結愛

梶谷さくら 増田楓 秀作
泉陽愛 小野陽菜 田窪詩 高橋ゆら

間部愛加 入選
【華道・茶道】

第45回学校茶道エッセイ
生徒の部 真鍋陽咲 佳作

【演劇】

第38回愛媛県高等学校総合文化祭演劇部門
創作脚本賞

令和6年度愛媛県高等学校新人大会 出場
【囲碁・将棋】

第49回全国高等学校総合文化祭囲碁部門愛媛県大会
男子個人戦

河瀬想太 2位
山田陽南太 6位

片上周 9位
第49回全国高等学校総合文化祭将棋部門愛媛県大会

男子個人戦
片上周 ベスト4

河瀬想太 ベスト8
山田陽南太 ベスト16

第49回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会愛媛県大会
男子団体戦

河瀬想太 片上周 山田陽南太
第1試合 新居浜西 3-0 松山工業

第2試合 新居浜西 1-2 松山東
2位

男子個人戦
片上周 3位

山田陽南太 6位
河瀬想太 8位

【インターアクト】
令和6年度高校生英語ディベート・コンテスト
出場

【有志】
中国四国地区生物系三学会合同大会 2025年度愛媛大会

高校生ポスター発表会「植物分野」
最優秀賞

「クスノキのダニ室の秘密に迫る
～葉の大きさとダニ室の大きさの関係～」

青木祐志郎 岡本侂磨 宮崎遥
山内香音 佐々木柊 神野侑那

●● 令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会愛媛県予選会 結果 ●●

陸上競技 バドミントン 全国大会へ

【陸上競技】

男子
100m 越智歩夢 3位※全国大会出場

200m 越智歩夢 1位※全国大会出場
小野春樹 2位※全国大会出場

400m 伊藤脩汰 2位
小野春樹 4位※全国大会出場

800m 伊藤脩汰 1位※全国大会出場
越智歩夢 2位

三段跳 伊藤脩汰 1位※全国大会出場

女子
400m 白鞘怜奈 2位※全国大会出場

800m 白鞘怜奈 2位※全国大会出場

【卓球】

男子団体3位
準決勝 新居浜西 1-3 未来新居浜

男子個人シングルス
越智椋樹 3回戦

佐藤雄大 3回戦
南部隼門 2回戦

秋月敬心 1回戦
山内聖音 1回戦

女子団体(リーグ戦)3位
新居浜西 2-3 松山南

新居浜西 2-3 未来松山

女子個人シングルス
星田愛 3回戦

岡部優羽姫 3回戦
岩崎天梨 1回戦

【バドミントン】

男子個人シングルス
田村海斗 第2位 ※全国大会出場

森本佑希 ベスト4 ※全国大会出場
山下達輝 ベスト4 ※全国大会出場

真鍋颯汰 3回戦
橋本大駕 1回戦

政石光希 1回戦
女子個人シングルス

谷口結愛 ベスト4 ※全国大会出場



母校の概況

Nihama-Nishi High School

▼教職員の異動

《転出》

教頭	井上 真一	三島
事務長	山下 哲	新居浜工
地学	佐伯 康英	今治特支
数学	立野 潤	今治北
数学	越智 功真	今治西
理科	渡辺 浩志	今治工
保体	児玉 信也	退職
保体	堀部 真生	今治工
保体	岡野 佳代	小松
保体	城戸 雄貴	東温(新採)
芸術	大山 夏和	退職
事務	岡内 孝司	退職
スクールライフアドバイザー	今井 弥生	退職
サポートチーム	亀尾 千春	退職
スクールサポート	藤田 彌生	退職
ICT	渡辺 一生	退職
教育支援員		
《転入》		
教頭	山下 太志	総合教育センター
事務長	酒井 美穂	新居浜商
地学	河村 耕一	今治西
数学・情報	福岡 響	松山西中等
数学	越智 啓介	新規採用
理科	中井 芳恵	松山中央
保体	伊藤 弘美	川之江
保体	伊藤 春好	新規採用
保体	河野 飛翔	新居浜東

▼同窓の教職員

(氏名)

(卒業年)

(教科等)

保体	田中 愛夢	新規
芸術	平岡 胡桃	新規
事務	村上 綾花	河北中
準スクールカウンセラー	三橋 和枝	新規
サポートチーム	松本 来	新規
支援員		
スクールサポート	溝田 磨矢	新規
ICT	今村 真苗	新規
教育支援員		
(氏名)		
甲斐 誠	昭和50	数学
稲見 武仁	昭和52	英語
藤田 利架	昭和56	英語
鈴木 一宏	昭和58	保体
日野 右子	昭和59	校長
伊藤 弘美	昭和59	保体
五味 稔	昭和61	数学
塩崎 美都	昭和63	国語
宮崎 真紀	平成3	国語
清水 靖二	平成4	国語
藤原 彩	平成9	英語
永井 瑞樹	平成13	理科
伊藤 亮輔	平成16	学校補助員
山崎 達弥	平成30	理科

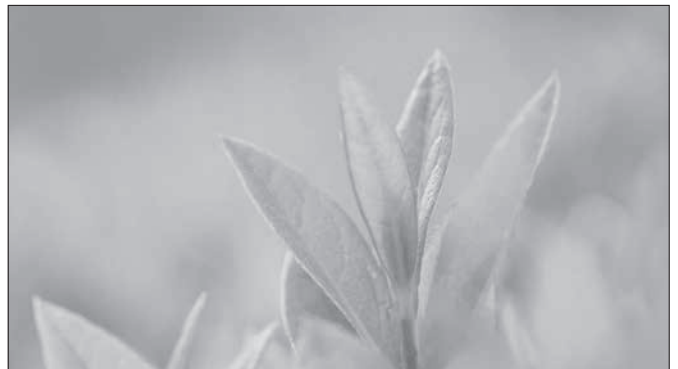
▶大学合格一覧

最近3か年の総合格者と、大学別合格者の一部を紹介 ()は過年度生

	令和4年	令和5年	令和6年
国公立大	138(2)	160(13)	157(11)
私立大	421(10)	411(23)	490(21)
	令和4年	令和5年	令和6年
北海道大	0	3(1)	0
東京大	0	0	1
東京科学大	0	0	1
一橋大	0	0	1
名古屋大	1	2	0
京都大	0	1	3
大阪大	9	7	5(1)
神戸大	2	7(1)	7(2)
岡山大	14	22	18
広島大	5	10	6
愛媛大	30	30(3)	22(1)
九州大	2	8(1)	6

▶年間行事予定

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月																																	
19	1	19	17	8	19	27	15	30	6	5	29	9	30	28	18	26	11	30	13	10	8	日																							
3学期終業式		全日制卒業式・定時制卒業式		学年末考査（ゝ26日）		大学入学共通テスト（ゝ18日）		3学期始業式		2学期終業式		2学期期末考査（ゝ12月3日）		県高校総合文化祭（ゝ16日）		定時制運動会		1・3年生2学期中間考査（ゝ9日）		2年生修学旅行（ゝ8日）		2年生2学期中間考査（ゝ10月2日）		全日制運動会		定時制・通信制県総合体育大会		2学期始業式		1学期終業式		1学期期末考査（ゝ7月2日）		西高祭（ゝ12日）		県高校総合体育大会（ゝ6月2日）		1学期中間考査（ゝ16日）		PTA総会		全日制入学式・1学期始業式・定時制入学式		行事	



新居浜の動き

Hello!
NEW

新居浜

2025大阪・関西万博に
新居浜太鼓台が派遣されました



見事に寄せ太鼓を成功させました

四国三大祭りの一つに数えられ、新居浜の伝統民族文化行事である新居浜太鼓祭りですが、5月21日に2025大阪・関西万博に太鼓台が派遣され、その豪華絢爛・勇壮華麗な演技が披露されました。日本で開催される万国博覧会に、新居浜太鼓台が派遣されるのは、1970年に開催された大阪万博以来55年ぶりとなります。また、今回の万博で、単独の市町村としてイベントを開催するのは新居浜市だけです。

10時から19時までEXPOアリーナ「Matsuri」会場で開催されたイベントでは、公募で派遣が決定した川西地区の口屋太鼓台と中萩地区の岸之下太鼓台・萩生東太鼓台の総勢約800人のかき夫の皆さんが3回の演技を行い、最終回では、3台による寄せ太鼓が見事に成功するなど、訪れた延べ3万人以上の観客を魅了しました。



ライブドローイング中の石村さんとお手伝いする水樹さん



子供たちもお祭りに夢中です

太鼓台の演技以外にも、観覧者の方々には、かき夫などの体験により、太鼓祭りの雰囲気味わってもらいました。また、本市在住の画家石村嘉成さんによるライブドローイング、本市出身で新居浜ふるさと観光大使の水樹奈々さんの、「ちよおうさじゃ」と新居浜市を題材としたふるさと映画「ふたつの昨日と僕の未来」の主題歌「サーチライト」の熱唱で会場は盛り上がりました。

ほかに、新居浜南高校の生徒さんによる新居浜市の紹介やダンスグループによるパフォーマンスなど、新居浜の魅力余すことなく伝えることができたのではないかと思います。

同窓生の皆さんも、今年はお祭りに帰省され、ふるさとを満喫されてはいかがでしょうか。

問合せ 観光物産課

☎0897-65-11261

日本スポーツマスターズ2025 愛媛大会が開催されます

9月20日から23日にかけて、日本スポーツマスターズ2025愛媛大会が開催されます。

日本スポーツマスターズは、全国から原則35歳以上のアスリートが参加するスポーツの祭典です。スポーツ愛好者の中でも競技志向の高いシニア世代を対象とされており、参加者がフェアプレー精神に基づき、お互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、スポーツのより一層の推進を図り、併せて生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与しようとするもので、愛媛県での開催は初めてとなります。

この大会は、県内の15市町、32会場において、水泳やテニス、サッカーなど13競技に、約8,000人が参加し、本市では、軟式野球(男)、バドミントン(男女)、ゴルフ(男)が次のとおり行われます。皆さんも、全国トップクラスのアスリーターの戦いをご覧になってはいかがでしょうか。

●軟式野球(男)

開催日 9月20日(土)

場所 新居浜市営野球場

●バドミントン(男女)

開催日 9月20日(土)から22日(月)

場所 新居浜市市民体育館

●ゴルフ(男)

開催日 9月8日(月)から10日(水)

※8日は公式練習

場所 滝の宮カントリークラブ

問合せ スポーツ振興課

☎0897-65-11306



懐かしい。すべてがなつかしい。

あらい まさもり
荒井 政森（昭和59年卒）

昭和56年に入学した。わずか3年間の高校時代ではあるが、あるときふと思い出してなにか恥ずかしかったり幸福な感じだったりを楽しむことが多い。40年来ずっとそう。

入学式の新入生代表の挨拶は自分だった。入学式前にどなたか先生から挨拶の巻物をいただき、そのまま読み上げた。自作のものではないのでいつそのことが気が楽で、なおかつ胸を張っていた。高校に入るときは成績優秀だった。このことを父は喜んでくれた。ブルーワーカーだったがある日襟のついたシャツと慣れない革靴を履き、多喜浜で唯一の時計店で腕時計を買ってくれた。高校生になると腕時計を



身に着けるのが当時の入学祝だったようだ。セイコーシャリオだったと思う。非常にシンプルで薄手のものだった。ずっと身に着けていたら汗で錆びたのかベゼルの裏側に細かな虫くいの様の洞穴がいくつもできてしまった。どこにやってしまったのか今は所在がわからなくなっている。

ちょうど新校舎が建てられて数年の頃らしかった。新校舎の最上階がホームルームだった。それ以前の木造校舎は4才上の兄がいたころに文化祭で訪問したことがあり、黒く汚れたような木の廊下で革靴でキシキシ歩く先輩方になんとかバンカラ風だと憧れを抱いていたのだが、自分が入学したら下駄に袴で旧い高校生みたいにしてみたいとも思っていたりした。が、RC構造にリノリウム

の床、アルミサッシの窓も気持ちのいいものだ。

学担は原先生だった。初日のご挨拶ではお名前が時の皇后陛下と御名が同じであるとおっしゃっていたのを覚えている。良子皇后陛下とお誕生日が同じという方が同級にあり、同じく代表委員を原先生から指名された。あるとき英単語の話題になり、よくご存じなのはなぜかと皆が尋ねると「子供のころに英単語のカルタとかあったよね」とのこと。で幼少期から語学など馴れ親しんで来られたよう

で、自分とは違うよい家庭環境で羨ましく思ったよ。この方はいずれ西高の校長先生になる方だと僕は思っていましたよ。

入学初日だったと思う。汚れつちまつた悲しみに「を」讀んじることが高校生の粹だなんて思っていたくらいに僕は級友とのコミュニケーションにも困難さを自

覚していた。まずは席のちかくなつた彼に勇気をだして声をかけた。高校は市内各中学からの出身者なので見知らぬ顔の彼に出身中学を訊ねた。「何中？」文章でたずねるといった高等技術は毛頭なく、「何ちゅう？」とだけ声を絞るのが精いっぱい。：彼は首を縦にコクコクとうなづく。もういちど「何中？」と訊ねてみた。：まだだ。うんうんとうなづく。あれ、おかしいなと戸惑いながらお互い顔を見あつていたのだが、しばらくして彼はハッとしたような顔でこう答えた。「あ、南中」。

夏が近くなると高校野球の応援団がにわかにつくられる。団員は新入生から選ばれる。まずは大声を出す練習から。プール開きがまだの緑色の水面を前に飛び込み台に立ち

出身小の校歌を叫ぶ。西高の校歌ではない。歌うのではない。叫ぶのだ。市内各小学校の校歌を聴くのも新鮮だった。が、ひととき「なかはぎのー、なかはぎのー、しょうがっこうはよいところ」は驚いた。いい校歌ですね。その歌を叫んでくれた彼は早くに亡くなってしまった。ニ・チエの「神は死んだ」の話をしてくれたのにな。未だに読んでいない。彼の遺作が西高の図書



館に所蔵されているらしい。『世界は何度でも生まれ変わる』と神は言った』市の図書館にもあるらしいから今度読んでみるよ。高校時代がなつかしい。ただただ懐かしい。



本部だより

日常が戻ってきました

長く続いた新型コロナウイルスによる行動制限と感染対策の日々が、2年ほど前からようやく自己判断に委ねられるようになり、日常生活が戻ってきたように感じます。同時に樟樹会の活動も、会誌樟樹編集委員会から始まり、理事会で協議を重ねて、総会・懇親会で老若男女が賑やかに集うことが出来ました。西高祭で、大人気の「合格シール付き西高どら焼き」を販売して生徒会を支援し、「くすのき文庫」に本を贈呈しています。

3月1日の卒業式では、「50年目の卒業式」に68歳の会員が、18歳の卒業生とともに招待されました。なんとといっても、同窓会に新たに入会された若人の存在は同窓会の活力源。ますますつなかりを深められるような活動を目指したいと思います。



くすのき文庫



バザー出店

令和7年度 総会および懇親会のご案内

日 時 令和7年8月2日(土)
総会および懇親会
受付 17:30 ~ / 時間 18:00 ~ 20:30
場 所 レイグラッツェふじ
新居浜市高木町3-2 TEL 0897-34-2211

会 費 5,000円(一般会員)
2,500円(平成30年以降卒業会員)

※申し込みは、7月25日までにお願いします。

ご不明点などがありましたら、事務局へお問い合わせください。

樟樹会運営会費ご協力のお願い

リニューアルしたホームページのクレジットサイトからオンラインで納入できるようになりました。是非いちど訪れてみてください。

樟樹会は会員の皆様からの会費により運営されております。会員交流、母校支援の活動継続のため、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

クレジットサイトがオープン



クレジットサイトのQRコードを掲載いたしましたので、是非ご覧ください。

令和7年度 樟樹会事業計画(案)

月 日	会 合 名	事 業 内 容
4月3日	第1回樟樹編集委員会	「樟樹」36号印刷所承認・概要相談
4月7日	会計監査	令和6年度 会計帳簿類
4月11日	第1回執行役員会	令和6年度事業報告・会計決算監査報告 令和7年度 事業計画案・予算案・役員改選 入会記念品と同窓会賞について 令和7年度 総会・懇親会開催について・その他
4月14日	第2回樟樹編集委員会	「樟樹」36号 原稿依頼先及び担当者決定
4月24日	第1回理事会	第1回執行役員会と同内容
5月12日	第2回執行役員会	令和7年度 総会・懇親会開催について・その他
5月12日	第3回樟樹編集委員会	原稿持寄り・ページ構成・レイアウト打合せ(中止とする)
5月19日	第4回樟樹編集委員会	前回分校正・第2次原稿持寄り
5月26日	第5回樟樹編集委員会	校正
5月29日	第2回理事会	第2回執行役員会と同内容
6月1日	東日本樟樹会総会	本部から若干名が参加予定 (会場:アルカディア市ヶ谷)
6月5日	第6回樟樹編集委員会	最終校正
6月12日	西高祭でバザー出店	西高祭で、西高どら焼き販売→バザー収益金を生徒会へ贈呈
7月15日	会誌「樟樹」36号発行	
8月2日	総会・懇親会	活動報告と意見交換(会場:レイグラッツェふじ)
11月8日	近畿くすのき会総会	本部から若干名が参加予定 (会場:ホテル京阪京橋グランデ)
1月下旬	第3回執行役員会	今年度の反省及び次年度の予定・各会計中間報告・その他
2月上旬	第3回理事会	第3回執行役員会と同内容
2月27日	同窓会入会式	新会員へ入会記念品を贈呈
3月1日	同窓会賞授与	卒業式にて授与(全日制・定時制)
3月1日	50年目の卒業式	昭和51年3月卒業会員を招待
備 考		“くすのき文庫” 学校図書室に文庫本を贈呈予定 松山樟樹会総会は、令和8年開催予定

令和6年度 樟樹会一般会計収支決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

項 目		6年度予算額	6年度決算額	備 考
収入部	前年度繰越金	2,855,136	2,855,136	
	入会金(全日制)	2,600,400	2,574,000	780人×3,300円
	入会金(定時制)	29,700	19,800	2人×9,900円
	運営会費	1,000,000	672,000	200件 1口 3,000円から
	賛助会費	500,000	610,000	53件 1口 10,000円から
	総会会費収入	600,000	407,500	
	雑収入	300,000	310,217	名簿販売・チャリティーバザー売上・預金利息
収入合計		7,885,236	7,448,653	
支出部	会合費	1,200,000	731,150	総会経費等
	慶弔費	50,000	0	銭別
	人件費	1,440,000	1,440,000	賃金
	事務費	200,000	107,821	事務機器の保守点検契約料他
	同窓会賞	20,000	16,500	全日制 2名 定時制 1名
	入会祝	350,000	469,590	全日制・定時制 卒業生へ記念品
	支部活動費	350,000	225,000	各支部行事への参加他
	旅費	350,000	290,000	各支部行事への参加に掛かる旅費
	生徒への補助金	500,000	450,000	全国大会出場補助・バザー収益金を寄付
	その他の事業費	400,000	468,187	高校野球大会広告料・くすのき文庫に文庫本贈呈 50年目の卒業式・チャリティーバザーの経費
	通信費	200,000	255,568	電話代 郵送切手・葉書代
	広報活動費	250,000	174,160	会誌「樟樹」購入費(事務局分)
	ホームページ運営管理	100,000	79,200	ホームページリニューアル
	雑費・予備費	200,000	116,579	振替加入口座手数料負担他
	周年事業積立金	200,000	200,000	特別会計へ(8回目)
次年度繰越金		2,075,236	2,424,898	(現金) 20,000 伊予銀行 (普通預金) 1,166,817 ゆうちょ銀行 (加入口座) 1,238,081
支出合計		7,885,236	7,448,653	

ききだより

東日本樟樹会

第17回東日本樟樹会総会・懇親会

東日本樟樹会の第17回総会と懇親会は、6月1日(日)東京都千代田区「アルカディア」私学会館で開催されました。来賓として同窓会本部から妹尾樟樹会会長と今井副会長をお招きし、出席者は総勢で51名でした。昭和21年卒業から平成20年卒業の方まで幅広い世代の同窓生が出席し、賑やかに開会しました。

総会では井上会長の挨拶の後、昨年度の収支報告及び役員改選が行われ、全会一致で承認されました。来賓の妹尾会長から心のこもった祝辞をいただいた後、日野学校長から届いた母校の懐かしい便りと心温まる総会へのメッセージを卒業同期の佐藤幹事が朗読し、出席者一同母校の思い出に浸りました。

昭和43年卒の檜垣様のご発声で始まりました懇親会では、「新居浜市&西高クイズ」大会が各テーブル対抗で催され、懐かしい賞品(関東では入手困難な万長ラーメン)を獲得を目指して、新居浜弁が飛び交う中、楽しい時間を過ごすことができました。最後に新旧の校歌を斉唱し、懇親会を締めくくりました。因みに優勝テーブルは来賓者チームでした。

今回は来賓6月7日(日)に同会場にて、第18回総会・懇親会を開催する予定です。多くの方が新居浜の香りのするこの会に参加されることを願っております。

大澤 明文(昭和44年卒)



近畿くすのき会

第28回近畿くすのき会総会・懇親会

近畿くすのき会は令和6年10月26日(土)、ホテル京阪京橋グラウンデにて第28回総会と懇親会を開催しました。来賓として樟樹会本部より妹尾次郎会長、母校の日野右子校長らをお招きし、総勢約40名のアットホームな会となりました。

総会では、曾我浩会長が会員の交流を深めるために定期的に企画している「愛媛美食探訪クラブ」の現状などを報告し、参加を呼び掛けました。総会に続き、四国中央市出身で数々の人気テレビドラマや映画作品のシナリオライターとして活躍しておられる福田卓郎氏(昭和55年卒)に「作品と故郷と西高と」をテーマに講演いただきました。

今回は、令和7年11月8日(土)に同ホテルにて計画しており、講演会では大阪公立大学教授の常定芳基氏(平成55年卒)に、宇宙から届く宇宙線に関するお話(仮)をいただく予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

近畿くすのき会幹事

白石康平(平成55年卒)



松山樟樹会

第14回 松山樟樹会総会・懇親会

松山樟樹会総会は、今回で第14回となり、2年ぶりの開催となりました。令和6年9月14日(土)松山三越 8階「AINO」で開催し、42名の参加となりました。

総会は、17時から加藤弘正会長(昭和52年卒)の挨拶の後、妹尾樟樹会会長から近況報告とこれからに向けてのお話がありました。その後、議事に移り、会計報告等、承認されました。

17時半から、昭和54年卒の石村和徳氏に「アーティスト石村嘉成のキセキ」をテーマに、石村嘉成さんとともに、楽しく素敵なお話いただき、参加会員の皆様は、すぐく聞き入っております。

全員で記念撮影後、懇親会では、恒例の太鼓台のDVDが流れる中、福徳マリ子氏(昭和51年卒)による元気な司会のもと、高田健司副会長(昭和49年卒)による元気がでる乾杯をしていただき、皆さんで、お互いに近況報告をしながら、楽しい時間を過ごしました。最後に、新居浜西高校歌斉唱後、加藤令史副会長(昭和51年卒)により、懇親会を締めくくりました。

今回は、2年後(令和8年11月)に開催する予定です。松山にお住まいの同窓の皆様はぜひご参加ください。

近藤 良一(昭和63年卒)



太鼓台にさそわれて

杉山 泰(昭和42年卒)

秋が深まり人恋しくなる頃、耳を澄ませば聞こえてくる太鼓の音「どんでんどん」。少年時代に胸を弾ませた「ソウルサウンド」は今も変わらず心に響きます。

我々の同期会は、いつの頃からか4年に一度、秋祭りの初日に開催するのが恒例となっていました。

前回はコロナで中止になった時、そろそろ潮時かな」とみんなが思っていた所、役員さん達の熱意と尽力により、今回何と8年ぶりの同期会が実現しました。何分にも高齢の域に達した我々のこと、出席者数も気になっていましたが、意に反して男女各々20名余が元気な顔を見せてくれました。

8階の会場から見えるのは新居浜の原風景。この海岸線の工場群を懐かしみながら、西高時代の学校行事やクラブ活動、更には小中学時代に遡り、話題は尽きず笑いの渦。まだまだ物のなかつた時代に新居浜で生まれ育った思い出が哀愁をおびて蘇ってきます。中締め後はイオンの夜太鼓を鑑賞し、締めは最後の体力を振り絞ってリーガのラウンジへ。

いつまでも別れを惜しむ秋の夜長でした。お疲れ様。遠くからあの太鼓の音。



2024.10.16 リーガロイヤルホテル新居浜にて



昭和44年卒業生同期会 新居浜祭りも楽しんで!!

菅 伸 明 (昭和44年卒)

平成31年3月に行われた「50年目の卒業式」以降、コロナ禍によって延び延びになっていた第13回同期会がついに開催された。多くの学友たちも思郷の念を募らせる10月18日新居浜祭りの日だ。残念ながら御高齢となられた先生方の御出席はかなえられなかったが、同輩たちは46名の者が参加した。

午後5時、三三五五集まって来た仲間たちが、西高放送部制作の学校紹介や100周年記念映像を懐かしく眺めているうちに、写真撮影があった。ワイワイの後、ヨタヨタと2階から1階の本会場へ移動。

近藤博司同期会代表の開会挨拶に続いて、原みさ子さんによる会計監査報告、そして札幌市から駆けつけてくれた美曹直幹君による乾杯の音頭。以下、リーガロイヤルホテルの美味しい食事をしみながら歓談。フリーテーブルも2つ余分に用意してくれていたため、指定席以外のあちこちでも昔話に花を咲かせた。

頭頂部見て名札見ておお君か！
老眼で胸の名札の字がかすむ。ときだが、同期会性差の壁が低くなり、で活発に。会も半ばとなり、前に設えた雛壇にクラス毎に上がり、一人ずつの短いスピーチがあった。後、再び歓談。そのうち、畑田雅敏前同窓会会長(畑田本舗)の、校章焼印入りのどら焼きセツトが当たる抽選会があった。これもちよっとしたサプライズだ。校歌合唱後閉会。話し足りない、飲み足りない連中は、同ホテルの二次会場へフラフラとー。



2024.10.18 於 リーガロイヤルホテル新居浜

次回は令和9年7月18日(日)の開催が決定している。我々の多くが喜寿の年になる。後期高齢者のみんな、それまで元気でいろよ！

時が瞬時に戻った 50歳記念同期会

服部 博文 (平成5年卒)

卒業から30余年、50歳という節目を迎え、盛大に集まろうという声があがった。SNSや口コミを通じて呼びかけた結果、令和6年12月30日当日はなんと約80名が集結。遠方からも多くの仲間が駆けつけてくれ、大変貴重な機会となった。卒業以来初めて顔を合やす人や名前を思い出せない人もいたが、青春時代を共有した絆は不思議なもので、一瞬で打ち解け、思い出話に花が咲いた。同期会とは、こんなにも心踊るものだったのか。



幹事として準備不足の不安もあったが、皆が盛り上げてくれ、あちこちで笑い声がかかる楽しい時間となった。特に、西高で焼きたけお餅をたじやんけん大会では、大の大人がノリノリで参加してくれて、本当にありがたかった。さらに、一次会後も多くの人が二次会、三次会へと繰りだし、夜深くまで語り明かしたという報告には、幹事冥利に尽きた。

次は還暦に、と思っていたが、「もっと早く」「次回はずいぶん参加したい」という熱い要望が届いているので、近い将来、再び皆と再会し大笑いする機会を持てればと思っている。その日まで、それぞれの場所で元気に生きていく。

最後に、参加して下さった皆様、そして、最高の盛り上がりを出してくださった皆様、本場ありがとうございます。

トピックス 放送部が新居浜舞台の 短編映画制作に参加!

今年2月、新居浜を舞台にした短編映画「ただいま」が完成し、お披露目上映会があががねミュージアムで行われました。ミュージアムが企画した映画制作には新居浜市民がスタッフとして参加。西高放送部からは山内香音さん、近田ほなみさん、三宅一葉さんが、



昨年9月に行われた撮影に挑みました。3人は俳優や技術スタッフなど、映像のプロのいる現場にも臆せず、市内のロケ地を奔走。朝の荷内海岸からスタートした撮影は、みんなのコーヒィ、肉と花のおおとし、宗像神社でのロケを経て、夕暮れの民家でクランクアップしました。

監督を務めた山内さんは「元々、地域に関わりたく放送部に入部した。企画を知り是非参加したかった。撮影では私のふんわりしたイメージで俳優さんが演技をしてくれ感動した。最初は緊張したが徐々に具体的な指示が出るようになった。完成した作品が市民の皆さんの話題になり、新居浜に想いを巡らせてもらえれば」と話してくれました。「ただいま」はあががねミュージアムでの上映の後、国内外の映画祭にエントリー中。つづいてショートムービーコンペティション2025では見事入賞し、また6月22日には第26回ハンブルク日本映画祭にて極東インディペンデント映画祭推薦を受け上映されました。今後の上映機会を是非お見逃しなく。(皆尾 裕)

『ただいま』出演…武田雛歩(ひなぶ) 谷本凜花 片岡礼子ほか 企画…山本清文 監修…西山将貴

編集後記

「貧乏な人とは、物を持っていない人ではなく、物がいくらあっても満足しない人だ。」とは「世界で一番貧しい大統領」といわれ、5月13日に89歳でお亡くなりになった、南米ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の言葉です。自分の生きざまを顧みて、心がチクツと痛くなりました。「豊かさ」とは何なのでしょう。たくさんもののに囲まれて生きることはいいのですが…。「50年目の卒業式」に出席され、とても温かい文章を寄せてくださった瀨浪さんがその中で「同期会とは出会い直しの場」と書かれています。人との繋がりが幸せと優しさ笑顔、その心の豊かさをもたらしてくれるのですね。

大阪・関西万博が開催され、連日、国内外から多くの人が会場を訪れています。5月21日は新居浜からも3台の太鼓台が派遣され、EXPOアリーナでかきくらべを披露しました。その時のことは本冊子の「新居浜の動き」のコーナーで紹介されています。

大いなるつながりと小さな幸せのいっぱい詰まった、会誌「樟樹」36号をお届けできることをとてもうれしく思っています。これから3万人を超える同窓生の皆様と母校の心の交流が「みやくみやく」と末永く続きますように。

委員長 石川美千子 (昭47卒)
委員 近藤 信之 (昭28卒)
武田 司 (昭42卒)
近藤 博司 (昭44卒)
畑田 雅敏 (昭49卒)
裕子 (昭49卒)
妹尾 次郎 (昭55卒)
安藤 寛和 (昭58卒)

織田 文生 (昭60卒)
越智 孝司 (平2卒)
清水 靖二 (平4卒)
皆尾 裕 (平9卒)
足立 美保 (平11卒)
永井 瑞樹 (平13卒)
鈴木 雅大 (平16卒)

発行所 樟樹会
〒792-0024
新居浜市宮西町4 46
TEL 0897-32-4331
FAX 0897-32-4331

発行者 妹尾 次郎
印刷所 石川美千子
株式会社サラト
発行日 令和7年7月15日

表紙題字…檜崎 一光老師
表紙写真…大久保直幸氏 (昭和44年卒)

